

事業所名

たにやま たんぽぽ

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

15日

法人（事業所）理念	教育保育事業と療育事業の一体化を目指し、学園内の幼稚園型認定こども園たにやま幼稚園・たに幼めばえ保育園との相互連携を密にし、一体となって幼児の状況及び環境に応じた適切かつ効果的な指導訓練を行う。					
支援方針	個別指導をベースとし、必要に応じた小集団での活動も行いながら、自立と集団参加を柱に置き、基本的生活習慣だけでなく就園や就学に必要なサポート等、現在の生活と将来を考えた指導を行う。 利用児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該利用児の身体及び、精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び、訓練を行うとともにその保護者の支援を行うものとします。					
営業時間	8時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	保護者や並行利用している園と連携を取りながら、利用児の状態を把握し、随時支援内容を検討していく。その中で、必要に応じて重点的な指導を行う。				
	運動・感覚	マット運動やトランポリン、バランスボール、平均台等を使いながら体幹トレーニングや粗大運動に取り組む。 洗濯ばさみや紐通し、ペグ刺し等を使いながら微細運動に取り組む。 保護者への聞き取りや指導を行う中で利用児の苦手な素材や感触、音等を把握し少しずつでも適応できるような経験を積めるようにする。また、必要に応じて代替できる物も見つけていけるようにする。				
	認知・行動	視覚的・聴覚的な情報を理解し、適切な行動に移せるようにする。 思いを受け入れながら、どのような行動を取るべきかの指導を行う。 支援の内容や量を調整し、様々な場面で適切な行動を取る事で不適切な行動を軽減していけるようにする。				
	言語 コミュニケーション	利用児の興味のある教材を使いながら発語を促し、正しい表現や知識を獲得していけるようにする。 多種のカードや絵本、簡単な質疑応答を行いながら適切な返答や会話の順番を身に付けていけるようにする。 グループワーク等を行いながら獲得した言語コミュニケーション能力を活用する経験を積む。				
	人間関係 社会性	個別指導の中で様々な相手との関わる際の言語や所作、状況の判断等の指導を行う。 小集団の活動の中で、グループワーク等に取り組み、友達とのやり取りや協力する経験を培う。 並行利用している園と連携を取りながら、利用児の状態を把握し、集団活動に参加する為の言動や知識、技術を獲得していけるようにする。				
家族支援	家族が安心感や見通しを持ちながら子育てを行う事ができるように、物理的及び心理的支援等を行う。	移行支援		併行利用の施設と情報交換を行いながら状態を把握し、随時支援内容を検討していく。又、就学先に対し情報を伝達する事で、適切な環境や支援を受けられるようにする。		
地域支援・地域連携	関係機関等と連携を取りながら、必要に応じた支援を受けられるようにする。		職員の質の向上		適時事業所内研修やミーティングを行い知識や技術の向上に努める。 事業所外の研修にも参加をし、新たな情報を獲得できるようにする。	
主な行事等	当事業所では行事の設定は行っていないが、並行利用の園と連携を取りながら、運動会や発表会等での個別指導が必要な利用児に対して、個別指導を行っている。					